

# 子どもたちの規範意識を育てるための ルール・マナー教材集 【幼・小編】



## ～ とちぎの徳育推進事業 ～

学校が家庭や地域社会と連携して、子どもたちの規範意識の育成に積極的に取り組むことが求められています。

### 身近なルールやマナーについて

- ✚ みんなで話題にしよう
- ✚ みんなで考えよう
- ✚ 一つずつ心がけて取り組もう

平成20年3月  
栃木県教育委員会

# 目次

## 第1章 教材A1 学校と家庭を行き来する活用シート

内 容		ページ
活用シートの使い方		2
活用シート〔幼・小低〕	食事をするとき	3 - 8
活用シート〔幼・小低〕	話を聞くととき	9 - 14

## 第2章 教材A2 学校と家庭を行き来する活用シート

内 容		ページ
活用シートの使い方		16
活用シート〔小〕	みんなの力を合わせよう	17 - 19
活用シート〔小〕	ひとはみんなのために	21 - 23
活用シート〔小〕	心をつなぐことばかけ	25 - 27
活用シート〔小〕	やくそくを守る	29 - 31
活用シート〔小〕	時間を守る	33 - 35
活用シート〔小〕	みんなが使うものや場所	37 - 39
活用シート〔小〕	見えない相手とかかわること	41 - 43
活用シート〔小〕	学校生活のルールやマナーについて考える	45 - 57

## 第3章 教材B 「親学習プログラム」をアレンジしたシート

内 容		ページ
親学習シート〔幼・小〕	子どもの思い・大人の役割について考えてみましょう	60 - 61
親学習シート〔幼・小〕	楽しく生活していますか？ ～遊びと学習～	62 - 63
親学習シート〔幼・小〕	子どもとのコミュニケーション大作戦	64 - 65

## 第4章 教材C ルール・マナー参考資料

内 容		ページ
参考シート〔幼・小〕	ルール・マナー チェックシート	68
参考シート	もしも、ルールやマナーのない町になったら？	69
参考シート	ルールやマナーのもとになるものはなに？	70
参考シート	「法（ほう）」とはどんなもの？	71
参考シート	家族みんなで考える情報モラル	72
参考シート	家庭でも情報のルールづくり	73
引用データ及び参考文献		75
「平成19年度とちぎの徳育推進事業」規範意識に関する指導資料作成委員会		76

# 第 1 章

## 教材 A 1 学校と家庭を行き来する活用シート

### 【 幼児・小学校低学年 】

ルールやマナーについて話し合うきっかけとなる教材  
子どもたちの様子、学級の目標などを家庭と共有します

- 2種類の活用シートがあります。
- 配布用のシートは、学校の様子を伝えるとともに、保護者から意見や感想を書いてもらうために用います。
- 回収したシートをもとに作成した通信例をいくつか示しています。
- カラー版は、Web ページからダウンロードできます。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kihan> (PDF 版、Word 版)

内 容		ページ
活用シートの使い方		2
活用シート〔幼・小低〕	食事をするとき	3 - 8
活用シート〔幼・小低〕	話を聞くととき	9 - 14

# 活用シートの使い方

## 手順1：活用シートを用いて学級の様子を伝える

みんなが気持ちよく生活するために、気をつけることを考えたり、学級で話し合っ  
て目標を決めたりしたことを、子どもたちの様子や声とあわせて活用シート  
にまとめ、各家庭に持ち帰らせます。



学級で子どもたちと話し合った内容をまとめ、記入する。

子どもたちと話し合い、みんなで大切にしたいことを「学級の目標」にする。

保護者に、家庭での様子を書いてもらう。

## 手順2：活用シートの実践をまとめ通信を作成・配布する

保護者間で考え方を共有できるように、活用シートに寄せられた回答を整理して示す。

各家庭の取組や保護者の意見などもいくつか紹介する。

保護者の意見を踏まえて、園や学校の方針を示す。

指導のアイデアや関連するデータなど、保護者が参考にできる情報を伝えるための通信シートを作成することも考えられる。

## 食事をするとき

## みんなで きもちよく たべよう

子どもたちは、こう考えています



食事をするときの「やくそく」について、子どもたちに聞いてみました。

- ・ 食べはじめる前にすることは？
- ・ 食べるときに守ることは？
- ・ 食べた後にすることは？

こうした問いに対して、子どもたちは、「どうするとよいか(行動)」だけではなく、「どうしてそうするのか(理由)」も答えています。

約束 1

約束 2

約束 3

子どもたちと「やくそく」を確かめ、  
クラスの目標を決めました

ご家庭での様子をお知らせください

〔 〕組の もくひょう

ご家庭では、食事のときにどのようなマナー(やくそく)を大切にしていますか。  
心がけていることや工夫していることをお書きください。  
お子さんの様子や体験談、気になることなどでも結構です。お家の方  
から

食事をするとき

みんなで きもちよく たべよう

子どもたちは、こう考えています



食事をするときの「やくそく」について、子どもたちに聞いてみました。

- ・ 食べはじめる前にすることは？
- ・ 食べるときに守ることは？
- ・ 食べた後にすることは？

こうした問いに対して、子どもたちは、「どうするとよいか(行動)」だけではなく、「どうしてそうするのか(理由)」も答えています。

約束1〔「いただきます」「ごちそうさま」を言う。〕

- ・ 作ってくれた人に感謝したいから。
- ・ 魚は生きているのに、ごはんになってくれたから。

約束2〔すわって食べる。大きな声で話さない。〕

- ・ 立って食べるのはお行儀が悪い。
- ・ おなかがいたくなる。のどにつまってしまう。

約束3〔食べる前に、手を洗う。食べた後は、歯磨きをする。〕

- ・ (しないと)病気になってしまう。

子どもたちの意見を紹介する。



子どもたちと「やくそく」を確かめ、  
クラスの目標を決めました



ご家庭での様子をお知らせください

〔さくら〕組の もくひょう

ものをこぼさないように食べよう

子どもたちと確認した目標  
を記入する。

「話を聞くこと」に関して、ご家庭で、心がけていることや工夫していることをお書きください。

お子さんと話した内容や様子、エピソードなどでも結構です。



お家の方  
から

保護者から家庭の様子を伝えてもらう。



食事のルールやマナーを話題にして、園や学校の考え方を伝えるシートです。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

## ♪食事を楽しもう♪

みんなで確認しよう

子どもへのかかわり方のポイント  
示す・見守る・ほめる

早目におやすみ、ちゃんと朝ごはん  
生活リズムを整える

みんなそろって「いただきます」  
感謝の気持ちを言葉に表す

みんなで、おいしく、気持ちよく  
食事のマナーを身につける

いっしょに食べて、楽しい会話  
食卓は、大事なコミュニケーションの場

“お手伝い”“自分でできる”は、自立への一歩  
食事の準備や片付けに参加させる

学級で指導していることや目指していることを分かりやすく短い言葉で表してみました。

大切にしているルールやマナーを「合い言葉」のようにして意識できるといいですね。ご家庭で「やくそく」を確認するときの参考にしてください。

保育者からの  
アドバイス

## マナーを身につけるために 大切なこと・できること

### マナーのお手本は、身近な大人

マナーはひとりでは学ばません。集団生活の中でお互いを見てマナーが身に付いていきます。

食事のマナーの基本は、相手とコミュニケーションをとりながら、お互いに気持ちよく、おいしく食べることです。相手に不快な思いをさせないことは、人とかわる上での大切なマナーです。

マナーは見よう見まねで覚えていくものです。子どもたちと一緒に食事を楽しみながら、大切にしたいマナーを伝えていきましょう。

### マナーは形式ではなく、真心で

食事のマナーには、食事の挨拶、食べ方、食器の扱いなどがあります。礼儀作法だけがマナーではありません。

動植物の「命をいただく」という気持ちや、食材を育ててくれた人や料理を作ってくれた人への感謝の気持ちなども食事のマナーの根本にはあります。

人やものに感謝し大切にすることは、優しさや節度ある態度にもつながります。

活用シートに寄せられた家庭からの回答を、グラフなどにまとめた例です。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

## 食事をするとき

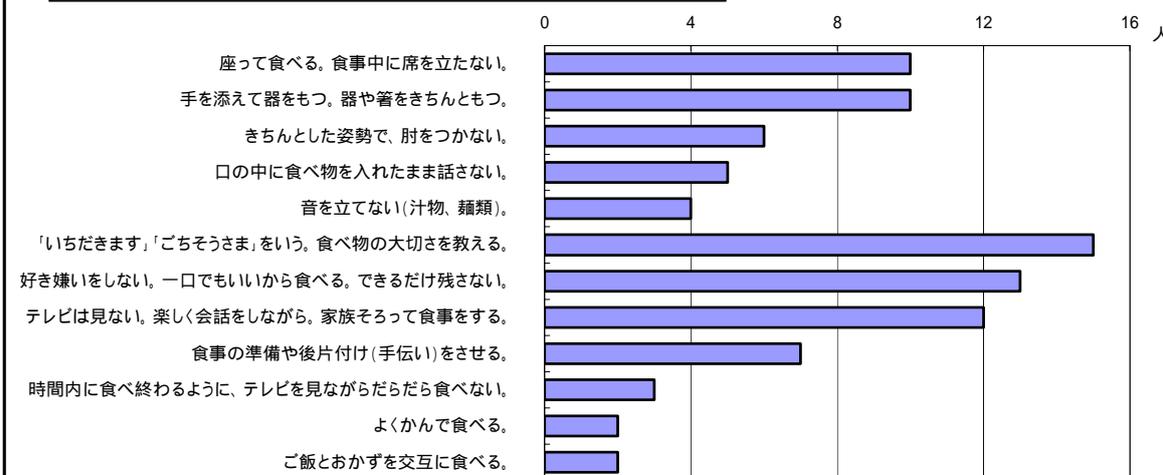
# みんなで きもちよく たべよう

ご家庭での様子を紹介します



先日は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。  
ご家庭では、食事のときにどのようなマナー（やくそく）を大切にしているのでしょうか。  
各家庭で心がけていることや工夫していることを書いていただいたので、それらの内容をまとめてみました。

### 食事のときに心がけていることや工夫していること



マナーは一人では学ばません。集団生活の中で見よう見まねで覚えていくものです。私たち大人も、子どもに見られていることを意識して食事をしましょう。

人とのかかわりの中で、一緒に食べるとおいしい、楽しいということを体感することによって、子どもは食事のマナーを学んでいきます。

### 今後の方針

「『いただきます』『ごちそうさま』を言う」という回答が最も多く、感謝の気持ちをもつことを大切にされているご家庭が多いことが分かりました。園でも大切にしている約束ですので、ご家庭と協力しながら今後も指導していきたいと思えます。



活用シートに寄せられた家庭からの回答を、文章で紹介した例です。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

## ♪ 食事を楽しもう♪

みんなで、おいしく、気持ちよく

子どもへのかかり方のポイント  
示す・見守る・ほめる

お家の方から 先日のアンケートにご回答いただいた内容の一部を紹介します。

食が細いので、親としてはいろいろ言いたいところですが、食べても食べなくても楽しく食事することを心がけています。

いろいろな味を知ってほしいので、あまり箸のすすまない食べ物は、親が「おいし〜い」といって、少しでも食べるように、気持ちをもっていくようにしています。

きれいなものでも一口でいいからがんばって食べる。食べたらいっぱいほめる。最近は、夕食の手伝いをしてもらい、自分が食べるものがつくられていく様子を見せたり、食べた後の片づけを一緒にしたりしています。

できるだけ家族そろって食事をするようにしています。

立って食べたり遊びながら食べたりしないように教えています。椅子から落ちたら危ないし痛いからやめようねと言っています。

箸の持ち方や、お茶碗をしっかり持つことを指導しています。きちんとできることで、小さいものや柔らかいもの等をつかんだり切ったりできるので、細かいことですが子ども自身のためにも教えています。

昔でしたら食事中的の会話は叱られるところでしょうが、仕事をしており、子どもたちと一緒に過ごす時間が少ないので、1日の出来事などを話しながら食べることになっています。また、食器を持たずに食べるので、食べこぼしが多いのを改善すべく、床に低いテーブルを置き自然に食器を持ち上げるよう工夫しています。

保護者の方へ



アンケートへの協力、ありがとうございました。ご家庭での方針や約束事を知ることが、一人一人の子どもを理解し、園での保育について考えるうえで、大変参考になりました。これからの指導に役立てたいと思います。

子どもたちにとって、食事はとても重要です。体だけでなく心を育てる大切な場です。食事を通して、ものを大切に扱うことや思いやりの心が育ち、それは、人に優しく接することにもつながると考えています。これからもご家庭との連携をとりながら、子どもの育ちを見守っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

話を聞くとき

相手を見て 話を聞こう

子どもたちは、こう考えています



どうしたら 上手に話を聞くことができるかな。

話を聞くときの「やくそく」について子どもたちに聞いてみました。

子どもたちは、「話を聞くときに気をつけていること」について、自分の体験を思い出しながら、次のように答えています。

約束 1

約束 2

約束 3



子どもたちと「やくそく」を確かめ、  
クラスの目標を決めました



ご家庭での様子をお知らせください

( )組の もくひょう

「話を聞くこと」に関して、ご家庭で、心がけていることや工夫していることをお書きください。

お子さんと話した内容や様子、エピソードなどでも結構です。



お家の方  
から



話を聞くとき

相手を見て 話を聞こう

子どもたちは、こう考えています



どうしたら 上手に話を聞くことができるかな。

話を聞くときの「やくそく」について子どもたちに聞いてみました。

子どもたちは、「話を聞くときに気をつけていること」について、自分の体験を思い出しながら、次のように答えています。

約束1 手をひざにおいて きちんとすわる  
おへそを むける

遊びが楽しくなって、話が聞こえなくなってしまう。

約束2 静かにする

話をしている人とおしゃべりのけんか(言い合い)になる。

約束3 話をしている人の目を見ながら聞く

- ・ 誰が話しているのか分からない。
- ・ 話を聞いていないように思われてしまう。



子どもたちと「やくそく」を確かめ、  
クラスの目標を決めました



ご家庭での様子をお知らせください

〔たんぽぽ〕組の もくひょう

話をしている人を見て、しずかにきこう

「話を聞くこと」に関して、ご家庭で、心がけていることや工夫していることをお書きください。

お子さんと話した内容や様子、エピソードなどでも結構です。



お家の方  
から



食事のルールやマナーを話題にして、園や学校の考え方を伝えるシートです。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

## \*心を傾けて聞こう\*

“視線を合わせて” 「聞く・話す」

子どもへのかかわり方のポイント

- ・ 関心をもつ
- ・ 視線を合わせる
- ・ 感情を言葉で伝える

あなたの話を  
もっと聞きたい。

話をしてくれ  
てありがとう。

ちゃんと聞いて  
くれてうれしい。



聞いてもらえる心地よさや安心感を体験している子は、  
人の話をしっかり聞くことができます

「心を傾けて話を聞く」ことは、相手を大切にすることです

相手の話をきちんと受け止める気持ちがあってこそ、相手との会話が成り立ち、よりよい人間関係を築いていくことができるのではないのでしょうか。

相手が安心して話せるように聞く

「あなたの話を聞いているよ」「あなたの話（気持ち）を聞きたいな」というメッセージを言葉や態度に表して聞くことで、子どもは安心して話をすることができます。

また、子どもが話しかけてきたときには、「ちゃんと聞いているよ」と態度で示すとともに、「話をしてくれてとってもうれしい」「ありがとう」と言葉にして気持ちを伝えてください。

### 保育者からの アドバイス

共感、納得することで自発的に  
行動できるようになります

「自分も相手もうれしくなるから、これはいいことなんだ」「...のためには、...することが必要なんだ」などの共感や納得ができてこそ、自分で判断し自発的に行動するようになります。

「話を聞く」ことは、  
集団生活の基本です

教師は、子ども一人一人ではなくクラス全体に話をする場面があります。「話を聞く」ことができる子は、全体に対する話を、自分のこととして受け止め、内容を理解したり行動したりすることができます。

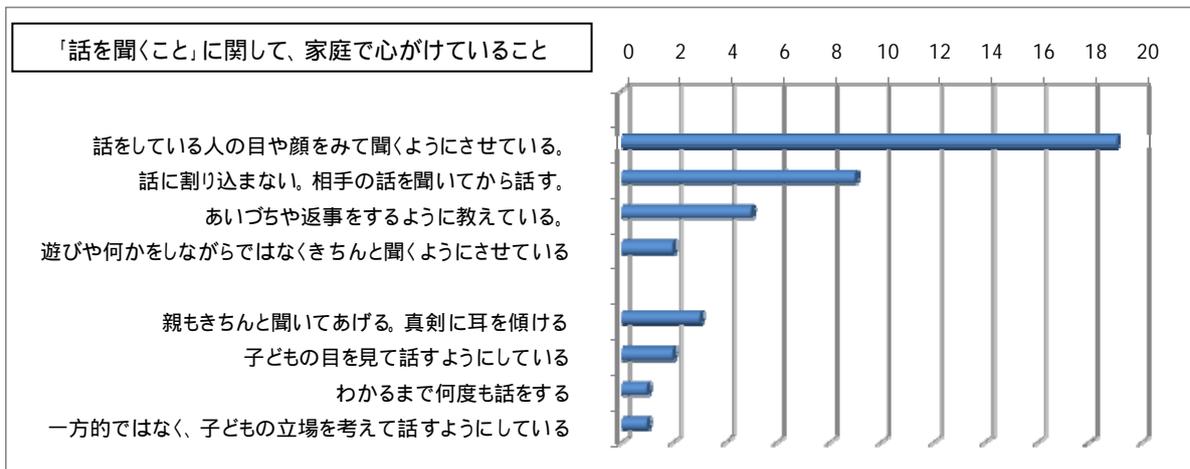
活用シートに寄せられた家庭からの回答を、グラフなどにまとめた例です。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより  
話を聞くとき

相手を見て 話を聞こう

ご家庭での様子を紹介します

先日は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。  
「話を聞くこと」に関して、ご家庭で心がけていることや工夫していることの回答をいただきました。それらの内容をまとめましたので、紹介します。



子どもの様子  
や支援について  
一緒に考えてい  
きましょう。

保護者の方へ

今後の方針

「聞いてほしい」「聞いてもらえてうれしい」という気持ちを大切に、「聞きたい」と思える人間関係を築きながら、聞き方のマナーも指導していきたいと思いをします。

「目と目を合わせて話をする」という回答が多くありました。話し手の方に向かせることを子どもに要求するだけでなく、こちらから視線を合わせてあたたかく話をすることの大切さに改めて気付くことができました。また、「その子に合わせた聞き方をする」という記述もありました。園では、全体に話をする機会が多いので、つい全員に同じような聞き方をするよう、指導してしまいがちですが、その子に合った聞き方があることに気付く、話し方にも工夫が必要だと思いました。

今回、ご家庭と園の意見を伝え合うことで、子どもへの理解がさらに深まったように思います。子どもたちの健やかな成長を願い、一緒にがんばっていきたく思いますので、これからも、ご家庭の様子などをお知らせください。

活用シートに寄せられた家庭からの回答を、文章で紹介した例です。

子どもと一緒にルールやマナーを考えるおたより

## \*心を傾けて聞こう\*

“視線を合わせて”「聞く・話す」

子どもへのかかわり方のポイント

- ・ 関心をもつ
- ・ 視線を合わせる
- ・ 感情を言葉で伝える

あなたの話を  
もっと聞きたい。

話をしてくれ  
てありがとう。

ちゃんと聞いて  
くれてうれしい。



お家の方  
から

アンケートにご回答いただいた内容の一部を紹介します。

遊んでいる手を止めて、話し手に“おへそ”を向けて聞くように伝えていきます。話がわかったかどうか確認のためにも、“うん”でもいいので言ってね”と話しています。

子どもは目をそらすことが意外と多いので、しっかり目を見て話すようにしています。だらだら話していると遊びがはいってきてしまうので、集中し、手短かに話をしようと心がけています。

子どもが話を聞いてほしいときには、親も子どもの目線と合わせて聞くようにしています。特に大切な話をするときや叱るとき、子どもの考えを聞くときは、手を休めて、子どもの心にとどくように話すことを心がけています。

自分の話をするだけでなく相手の話を聞くことも大事だということや、相手の気持ちを考えながら話すことができるようにしています。

家では使わないような言葉を話したりすることが多くなってきて驚いていますが、友達といっぱい話しているのだなと思い、微笑ましくもあります。

## 保護者の方へ



保護者の方や子どもたちから、「シートに書くときに、いろいろと親子で話をした」と伺いました。人間関係を築くうえで基本となる「聞く」ことについて、ご家庭でも話題にいただきありがとうございます。保護者の方の回答から、話を聞くときの約束事として、多くのご家庭でも同じようなことを大切に考えていることが分かりました。園で子どもたちと話し合ったときにも、何人もの子が、どのように聞くとよいのか自分の言葉で答えていました。これからも、話を聞いてもらえる心地よさを実感し、「お互いの気持ちを分かり合い気持ちよく生活するために、よく聞くこと」ができるよう、子どもたちに経験を積ませたいと思います。

## 第 2 章

### 教材 A 2 学校と家庭を行き来する活用シート

#### 【 児 童 】

ルールやマナーについて話し合うきっかけとなる教材

話し合いを通して「気付き」を促します

- 8種類の活用シートがあり、それぞれ指導ガイド、記入例、配布用のシートを示しています。
- 配布用のシートは、児童が、自分の生活を振り返って考えたことや学級で話し合ったことを書き留めるために用います。また、家庭に持ち帰って話題にするためにも用いることができます。
- カラー版は、Web ページからダウンロードできます。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kihan> (PDF 版、Word 版)

内 容		ページ
活用シートの使い方		16
活用シート〔小〕	みんなの力を合わせよう	17 - 19
活用シート〔小〕	ひとはみんなのために	21 - 23
活用シート〔小〕	心をつなぐことばかけ	25 - 27
活用シート〔小〕	やくそくを守る	29 - 31
活用シート〔小〕	時間を守る	33 - 35
活用シート〔小〕	みんなが使うものや場所	37 - 39
活用シート〔小〕	見えない相手とかかわること	41 - 43
活用シート〔小〕	学校のルールやマナーについて考える	45 - 57

# 活用シートの使い方

手順1：学級の実態や課題に応じて「活用シート」を選び、実践する

活用シート(中)①  
年 組 番 名 前 ( )

**みんなの力を合わせよう**

**ふりかえろう** 友だちと力を合わせて取り組んだことを、書きましょう。

力を合わせて取り組んだこと

あなたの役わりやがんばったこと

**考えよう** もうすぐ行われる行事(運動会・学習発表会・たてわり遠足)を成功させるために、あなたができることを考えましょう。

もうすぐ行われる行事( )

**やってみよう** あなたの学校のじまんの行事をしょうがいしましょう。

友達や家族と話し合っ、大切にしたいことや目標を確認させる。

「活用シート」を家庭に持ち帰らせ、家庭で話題になったことや家族に取材したことを書き込ませる。

これまでの経験を振り返らせ、自分の考えを記入させる。

どうすればよいかを考えさせ、ルールの必要性やマナーの大切さに気付かせる。

手順2：児童が記入した「活用シート」を回収し、結果をまとめる

【家族と話し合ったことの記述をグラフにまとめた例】



家庭で話し合った内容を整理し、児童の様子や学校の取組とあわせて保護者に伝える資料を作成し、配布することも考えられる。

## みんなの力を合わせよう

### 事例の考え方

学校行事や学級活動などで、望ましい集団活動を通して、協力することの大切さに気付かせることをねらいとしています。

力を合わせて取り組む活動を通して、集団への帰属意識を高め、仲間の大切さや達成の喜びを味わわせることができます。「自分たちで力を合わせてできた」という成功体験を重ねることにより、自尊感情を高めることにつながると考えられます。みんなが力を合わせて取り組むためには、話し合い活動の重要性を伝えることも大切です。

### 活用場面例

【 学級活動、帰りの会、道徳の時間（主として集団や社会とのかかわりに関すること） 】

学級活動の時間に、学校行事や学級活動に取り組む上での考え方を確認したり、参加の心構えを指導したりするときに活用できます。

行事の前に「ふりかえろう」、「考えよう」を実践し、行事の後や年度末に「やってみよう」を実践するなど、活動を分けて活用することも考えられます。

道徳の時間に、「役割と責任」や「愛校心」について学んだ後、日常の学校生活における内省化を促すために活用することができます。

### 展開のポイント

学校行事や学級活動を成功させるには、友達への言葉かけや雰囲気をよくする言葉、悪くする言葉について考えさせることが大切です。

みんなが気持ちよく力を出し合って取り組めるようにするには、事前の話し合いが大切であることを伝えていきます。

子どもたちから出された意見や家庭で話し合ったことを集約し、教室内に掲示したり学級通信に載せたりすることで、集団の一員として協力することを、意識させることができます。

年 組 番 名前 ( )

## みんなの力を合わせよう



ふりかえろう

友だちと力を合わせて取り組んだことを、書きましょう。

力を合わせて取り組んだこと 4年生のときの「長なわ ギネスにちょう戦」

あなたの役わりやがんばったこと



ぼくは、「だれかが、つかえたときに、もんくを言わないようにしよう。」とみんなに言いました。大きな声で数えて、つかえたときには「ドンマイ」と言うようにしたら、楽しくなりました。



係としての役割だけではなく、集団の一員として、協力しようとする態度が大切であることを、子どもたちと確認する。

考えよう

もうすぐ行われる行事(運動会・学習発表会・たてわり遠足)を成こうさせるために、あなたができることを考えましょう。

もうすぐ行われる行事名

( たてわり遠足 )

ウォークラリーのクイズは、低学年、中年、高学年の3種類考えて、みんなが楽しめるようにしたい。

集団の一員として協力しようとする態度や、みんなが気持ちよく参加できるための工夫について話し合えるよう支援する。

やってみよう

あなたの学校のじまんの行事をしようかいしましょう。

わたしの学校のじまんの行事は、なかよし遠足(たてわり遠足)です。

代表委員会と先生方が、どんな遠足にするかを話し合って決めます。

きょ年は、公園へ行って、ウォークラリーをしました。6年生が小さい子のめんどうをみってくれるので、みんながなかよくなれます。

(保護者の方へのお願い) 仲間とともにがんばった思い出を、お子さんにお話してください。小学校時代だけでなく、中学校、高等学校、職場等での経験でも結構です。



家族の話  
を聞いて

(母の思い出) 中学校の合唱コンクールに向けて、クラスで練習したこと。ふざける人が多かったので、話し合いをした。それから、みんながきょう力合って練習し、本番では力いっぱい歌うことができた。

「心のノート」も読んでみよう。

年 組 番 名前 ( )

みんなの力を合わせよう



ふりかえろう

友だちと力を合わせて取り組んだことを、書きましょう。

力を合わせて取り組んだこと

あなたの役わりやがんばったこと



考えよう

もうすぐ行われる行事(運動会・学習発表会・たてわり遠足)を成こうさせるために、あなたができることを考えましょう。

もうすぐ行われる行事名  
( )

やってみよう

あなたの学校のじまんの行事をしようかいしましょう。

(保護者の方へのお願い) 仲間とともにがんばった思い出を、お子さんにお話してください。小学校時代だけでなく、中学校、高等学校、職場等での経験でも結構です。



「心のノート」も読んでみよう。

## ひとはみんなのために

### 事例の考え方

みんなが明るく楽しく生活するためには、集団を支える様々な役割に目を向け、互いの協力し合い、認め合うことの大切さに気付かせることをねらいとしています。子どもたちが学級、学校生活を豊かにするために自主的に係の活動を行える力を身に付けるには、教師の段階的な指導・支援が必要です。子どもの発想や創意工夫を尊重して働きかけながら、実践的な態度を焦らずに育成する構えをもつことが大切です。

係活動・当番活動・委員会活動などにおいては、一人一人が自分の役割を自覚し、責任を果たすことが大切であるとともに、それらの仕事をがんばっている友達に対して、同じ集団の一員として協力できることも大切です。

### 活用場面例

【 学級活動、帰りの会、道徳の時間（主として集団や社会とのかかわりに関すること） 】

学級活動で係活動における考え方を確認させたり、友達に協力するよう指導したりするときに活用できます。

道徳の時間に、「役割と責任」について学んだ後、日常生活における振り返りを促すために活用することもできます。

家庭も集団生活の一つの場ととらえ、家族の一員としての役割について生活科や家庭科で学習する前後に、活用することもできます。

### 展開のポイント

日頃行っている係活動・委員会活動などに、どんな気持ちで取り組んでいるかを振り返らせることで、どのように協力していけばよいかを考えさせます。よりよい集団を築く上で、ねぎらいの言葉や感謝の言葉をかけたり、協力したりすることが大切であることに気付かせます。

発達段階に応じて、係・当番・委員会などから場面を選んで考えさせます。家庭でも話題にするよう、子どもに働きかけるとよいでしょう。

出された意見を集約し、教室内に掲示したり学級通信に載せたりすることで、役割を果たすことや協力することの大切さを意識させることができます。家庭や身近な地域社会における役割についての気付きがあった場合に紹介すると、子どもたちの見方を広げることができます。

年 組 番 名前 ( )

## ひとはみんなのために



### ふりかえろう

あなたが、係・当番・委員会などの仕事をがんばったときの気持ちを書きましょう。

あなたが仕事をがんばったとき、友だちから、どんなことばをかけてもらうとうれしいですか。

係・当番・委員会名(生き物係 )  
かめの水そうをきれいにしたら、かめがよるこんでいるように見えてうれしかった。みんなのとうひょうで、かめの名前を「かめきち」に決めた。みんなが、「かめきち」をかわいがっている。

- ・きれいになったね。
- ・ありがとう。
- ・手つたおうか。

### 考えよう

係は何のためにあるのでしょうか。

- ・ みんなが、楽しく明るくすごせるため。
- ・ クラスの一員として、仕事を分たんするため。
- ・ みんながきょう力して、よい学校にするため。



### やってみよう

係の責任を果たすことの大切さとともに、集団生活が明るく潤いのあるものになるよう前向きに取り組むことの大切さを、子どもたちと確認する。

- (1) 学級や学校をさらに楽しいものにするために、やってみたい係、めづらしいなと思う係を書きましょう。

レクリエーション係 メッセージ係 音楽係

- (2) まわりの人を、どのようなことばでおうえんしたらよいでしょうか。  
友だちや家の人と、話し合ってみましょう。  
がんばっている友だちに、声をかけておうえんしましょう。

- ・ レクリエーション係が遊びを決めるときに、しずかにしてきょう力する。
- ・ 整とん係が、たなを整とんしてくれたとき、「きれいになって気持ちがいいよ。」と言えた。

仕事をしている友達に、協力できること、さりげない声かけをするなど、互いに認め合うことの大切さに気付かせる。

### どうだったかな

友だちや家の人と、話し合えましたか。  
がんばっている友だちを、おうえんしたりきょう力したりできましたか。

話し合ったことや思ったこと

- ・ 自分が考えなかったことばを、友だちに教えてもらえた。
- ・ 友だちに「水そうが、きれいになったね。」と言われてうれしかったので、今度は、がんばっている友だちにお礼を言おうと思います。

「心のノート」も読んでみよう。

年 組 番 名前 ( )

## ひとはみんなのために

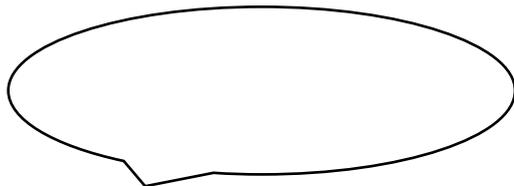


### ふりかえろう

あなたが、係・当番・委員会などの仕事をがんばったときの気持ちを書きましょう。

あなたが仕事をがんばったとき、友だちから、どんなことばを掛けてもらうとうれしいですか。

係・当番・委員会名 ( )



### 考えよう

係は何のためにあるのでしょうか。



### やってみよう

(1) 学級や学校をさらに楽しいものにするために、やってみたい係、あったらいいなと思う係を書きましょう。

(2) まわりの人を、どのようなことばでおうえんしたらよいでしょうか。  
友だちや家の人と、話し合ってみましょう。  
がんばっている友だちに、声をかけておうえんしましょう。

### どうだったかな

友だちや家の人と、話し合えましたか。  
がんばっている友だちを、おうえんしたりきょう力したりできましたか。

話し合ったことや思ったこと

「心のノート」も読んでみよう。

## 心をつなぐことばかけ

## 事例の考え方

周囲の人とコミュニケーションをとり、気持ちよく過ごすためには、相手の人格や立場を尊重する心が大切であること、一人一人の言動が、学級の雰囲気を作ることに気付かせることなどをねらいとしています。

子どもたちのコミュニケーション能力の低下は、ささいなことでトラブルになったり、学級の雰囲気が悪くなったりする原因の一つとなっています。

ロールプレイを通して、どのような言葉かけによって、相手に温かい気持ちを伝えることができるのかを話し合わせます。

## 活用場面例

【学級活動、帰りの会、道徳の時間（主として他の人とのかわりに関すること）】

新学期の学級開きや、人間関係について問題提起をしたいときなどに活用できます。活動を分割して、帰りの会で数日かけて実施することも可能です。

道徳の時間の「思いやり・親切」、「礼儀」等の指導との関連を図ることが考えられます。

## 展開のポイント

イラストを用いて、それぞれの言葉かけの違いを理解させます。ロールプレイの後、各自、グループ、学級で振り返りを行い、心が通い合う言葉かけについて考えさせます。

日常生活の中から、友達とやりとりをする場面について考えさせます。役割演技をする人、それを見る人を決めて、ロールプレイを行います。

ロールプレイを行うにあたっては、相手の気持ちを考えるための演技であることを説明し、児童に理解させます。

関連する日常活動として、友達からかけられた「温かい言葉」を帰りの会で紹介し合うことが考えられます。互いによさを認め合い、温かい気持ちで一日をしめくることができることができます。

心をつなぐことばかけ

どんな気持ち

三角じょうぎを見つけた男の子の気持ちは？



考えよう

友だちや家ぞくと気持ちよくすごすためには、どんな表じょうで、どのようなことばかけをするとよいでしょうか。

- ・手の目を見て、笑顔で話す。
- ・手がいやな気持ちにならないように話す。
- ・自分のことだけ考えて話をしない。

いろいろな場面を設定し、どんな言葉をかけるとよいかを考えて役割演技をさせ、言葉をかけられたときの気持ちを伝え合わせる。

やってみよう

いろいろな場面で、どんなことばをかける  
とよいか、友だちと話し合ってみましょう。  
家の人とも話し合ってみましょう。

【心をつなぐ ことばかけ】

遊びのさそいをことわるとき  
友だちが、給食をこぼしてしまったとき  
友だちとのやくそくの場所へ、  
つごうで行けなくなったとき  
夕食が終わったとき

どうだったかな

友だちや家の人と、話し合えましたか。  
あたたかいことばかけが、できましたか。

ロールプレイを振り返り、どのような言葉かけが相手に温かい気持ちを伝えることができるのかを話し合わせる。

(保護者の方へのお願い) ことばかけについて、お子さんと話し合ってください。



家族と  
話し合っ

お母さんに、「あなたが言われてうれしいと思うことを、お友だちに言ってあげればいいのよ。」と言われました。

「心のノート」も読んでみよう。

年 組 番 名前 ( )

# 心をつなぐことばかけ

どんな気持ち

三角じょうぎを見つけた男の子の気持ちは？



考えよう

友だちや家ぞくと気持ちよくすごすためには、どんな表じょうで、どのようなことばかけをするとよいでしょうか。

Blank box for writing answers.

やってみよう

いろいろな場面で、どんなことばをかける  
とよいか、友だちと話し合ってみましょう。  
家の人とも話し合ってみましょう。

【心をつなぐ ことばかけ】

遊びのさそいをことわるとき  
友だちが、給食をこぼしてしま  
ったとき  
友だちとのやくそくの場所へ、  
つごうで行けなくなったとき  
夕食が終わったとき

どうだったかな

友だちや家の人と、話し合えましたか。  
あたたかいことばかけが、できましたか。

(保護者の方へのお願い) ことばかけについて、お子さんと話し合ってください。



「心のノート」も読んでみよう。

## やくそくを守る

## 事例の考え方

約束は守るのが前提ですが、万一、守れないときには、誠意をもって対応すべきであること、誠実な態度が信頼関係を築いていくことなどに気付かせることをねらいとしています。

子どもたちは、約束を忘れてしまったり、守れなかったりしたときに、ごまかしたり、うそをついたりして、相手にいやな思いをさせてしまうことがあります。また、相手にいやな思いをさせていることに気付かないこともあります。約束を守ってもらえずごまかされたときの気持ちを考えることは、約束を守ることの大切さを自覚することにつながります。

他者との人間関係は、まず、一対一の人間関係づくりから始まることを意識させ、約束を守ることの大切さや、やむを得ず守れないときの対応の仕方について理解を図ります。

## 活用場面例

【学級活動、帰りの会、道徳の時間（主として自分自身に関する  
こと、主として他の人とのかわりに関すること）】

人間関係づくりをねらいとした学級活動のほか、総合的な学習の時間などの校外での体験的活動と関連を図って指導する際に活用できます。

活動を分割して、帰りの会などで数日かけて実施することも可能です。

道徳の時間の「誠実・明朗」等の指導と関連を図ることができます。

## 展開のポイント

約束を守ることの大切さをおさえます。小さな約束を一つ一つ果たしていくことで、他者との人間関係を築くことができることに気付かせます。

約束を守れなかったときにどう対応すればよいかを、ワークシートへの書き込みやロールプレイなどを通して、考えさせます。

活用シートの「家族と話し合っ」に書かれた内容を、学級通信で知らせることにより、他者と交わした約束について、家庭でも再度意識してもらうことができます。

総合的な学習の時間に、地域の方と約束を交わすなどの機会を意図的に設定し、約束を守る経験をさせることも大切です。

## やくそくを守る

### どうする？

たけしさんは、すすむさん、三郎さんと市立図書館に行くやくそくをしました。

しかし、1時間待っても、三郎さんは来ませんでした。次の日、二人は、三郎さんに「きのうはどうして来なかったの。」と聞きました。三郎さんはどうのように答えるでしょうか。

三郎さんの言い分を考えてみましょう。

そんなやくそくしたかな？

急用ができたんだよ。

ぼくが行かなくても、二人いたんだからいいじゃないか。



待たせた側の気持ちを理解させるために、まず、約束を守らなかったときの言い分をたくさん出させる。

### 考えよう

三郎さんの言い分を聞いたときの、たけしさんの気持ちを考えましょう。

理由があっても、どうしても、やくそくをはたせないときには、どうすればよいでしょうか。

やくそくをやぶったのに、とぼけるなんて悲しい。三郎君のようにごまかしていると、友だちからしん用されなくなると思う。

うそやごまかしを続けていると、友だちがいやな思いをして、友達から信用されなくなってしまうことに気付かせる。

相手が出かける前に、電話で行けなくなった理由を話して、あやまる。

誠意をもって謝ったり、理由を話したりすることが大切であることに気付かせる。

(保護者の方へお願い) 人とかわすやくそくについて、お子さんと話し合ってください。



やくそくをやぶったことを、すなおにみとめてくれないと、とてもいやな気持ちになると思う。社会に出てからも、人とのやくそくを守ることは、とても大切だということが分かった。

「心のノート」も読んでみよう。

年 組 番 名前( )

## やくそくを守る

## どうする

三郎さんの言い分を考えてみましょう。

たけしさんは、すすむさん、三郎さんと市立図書館に行くやくそくをしました。

しかし、1時間待っても、三郎さんは来ませんでした。次の日、二人は、三郎さんに「きのうはどうして来なかったの。」と聞きました。三郎さんはどのように答えるでしょうか。

そんな  
やくそくし  
たかな？

急用がで  
きたんだよ。

ぼくが行かなく  
ても、二人いたん  
だからいいじゃな  
いか。



## 考えよう

三郎さんの言い分を聞いたときの、たけしさんの気持ちを考えましょう。

理由があって、どうしても、やくそくをはたせないときには、どうすればよいでしょうか。

(保護者の方へお願い) 人とかわすやくそくについて、お子さんと話し合ってください。



「心のノート」も読んでみよう。

## 時間を守る

### 事例の考え方

節度ある生活をするためには、時間の使い方が基本であることを理解させ、日常生活での実践につなげることをねらいとしています。

学習や遊びなどにけじめをつけ、時間を守って生活することは、自分自身をコントロールし、自律的な生活態度を身に付けていく上での基本となります。

決められたことを守るだけでなく、そうすることが望ましいことだと児童自身が自覚し、節度ある生活態度や自制心が培われるよう指導していくことが重要です。

### 活用場面例

【学級活動、体育、家庭科、道徳の時間(主として自分自身に関すること)】

長期にわたる休業日の前後に、生活を振り返らせる際に活用できます。

学級活動の「心身ともに健康で安全な生活態度」、体育の「健康な生活」、家庭科の「生活を見直そう」等で学習した内容と自分の生活を関連付けて考える機会として活用することもできます。

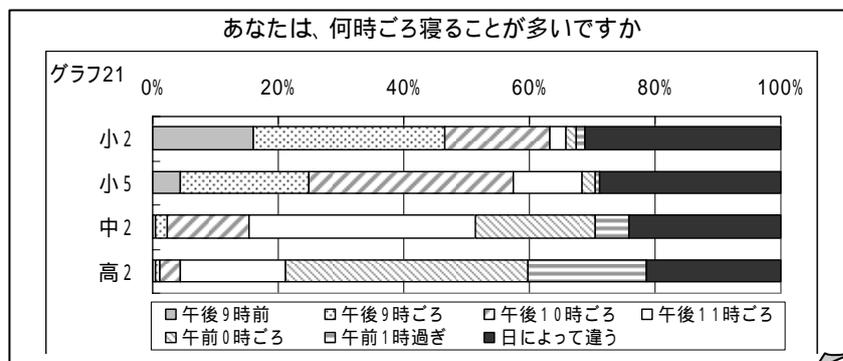
### 展開のポイント

時間を守らずに遊んでいると困ることは何か、学校と家庭のそれぞれの場面を取り上げて指導することで、時間を守って行動することは、学校でも家庭でも大切なことを意識させます。

けじめを付けるべき時間について友達や家族と話し合い、約束として意識させることによって、自分の生活を振り返り、自律的に取り組めるようにします。

学級懇談会等において、児童の様子や子どもの生活状況に関する調査結果を紹介するなどして、節度ある生活態度や自制心を培うためには、基本的な生活習慣の形成が重要であることを話題にするとよいでしょう。

#### 【参考】



「児童生徒の生活状況調査(平成16年3月 栃木県総合教育センター)より

## 時間を守る

### どうなるの

時間を守らないと、どうなるでしょう。  
何かこまることは、ないでしょうか。

休み時間は終わりなのに遊んでいると、・・・

- ・ 次のじゅ業におくれてしまう

- ・ イラストの場面を使って生活を振り返らせる。
- ・ 時間を守らないと困ることを考えさせ、節度ある生活をするこの必要性に気付かせる。



### 目標を決めよう

学校や家で、自分が守ろうと思う時間を書きましょう。

#### 学校で

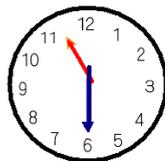
チャイムがなる前にせきにつく。

時間になったら、すぐにそうじを始める。

自分はどんな時間を守るのか、学校や家庭における具体的な場面での行動を考えさせ、自分で決めたことを守ろうとする意識を高める。

夜おそくまで起きていると・・・

- ・ 朝、ねむくておきることができない。



#### 家で

ゲームをする時間は、  
( )まで。

夜、( )時には、  
ねるようにする。

### やってみよう

どうすれば、時間を守ることができるでしょう。  
友だちや家の人とも話し合ってみましょう。



#### 話し合ったこと

- ・ 計画を立てて行動する。
- ・ 時計を見て行動する。
- ・ 守れるように声をかけ合う。

本人だけではなく周りの者も、守る時間について確認し、時間を意識して行動したり、注意を促したりできるようにする。

「心のノート」も読んでみよう。

年 組 番 名前 ( )

## 時間を守る

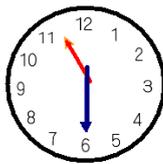
### どうなるの

時間を守らないと、どうなるでしょう。  
何かこまることは、ないでしょうか。

休み時間は終わりなのに遊んでいると、・・・



夜おそくまで起きていると・・・



### 目標を決めよう

学校や家で、自分が守ろうと  
思う時間を書きましょう。

学校で

家で

### やってみよう

どうすれば、時間を守ることができるでしょう。  
友だちや家の人とも話し合ってみましょう。



話し合ったこと

「心のノート」も読んでみよう。

## みんなが使うものや場所

### 事例の考え方

公共の場での約束やきまりを確認し合い、日常生活での実践につなげることをねらいとしています。

集団生活や社会生活には、みんなが気持ちよく生活するための約束やきまりがあります。学校も公共の場であるということを児童に意識させ、約束やきまりを守る大切さについての理解を図ります。

公共心や公德心を養い、集団の一員として約束やきまりを守ることができるよう、学校生活での具体的な場面を取り上げて、指導していく必要があります。

### 活用場面例

【 学級活動、帰りの会、道徳の時間(主として集団や社会とのかかわりに関すること) 】

年度初めに学校生活におけるきまりを確認したり、読書週間に合わせて図書や図書室の使い方について指導したりするときに活用できます。

道徳の時間に、「きまり」について学んだ後、日常生活における振り返りを促すために、活用することもできます。

### 展開のポイント

低学年では、生活科などの学習と関連させて、学校生活を中心に、みんなで使う「もの」や「場所」を確認し、さらに、地域の公共物や公共施設の利用について見方を広げるようにします。

図書の扱いや公共の交通機関を利用する際のマナー等について、家庭でも話題にするよう働きかけ、公共心や公德心の向上につなげます。

みんなが気持ちよく使いたい「ものや場所」とそれを使う際の「やくそく」について出された意見を集約し、教室内に掲示したり学級通信に載せたりすることで、きまりや約束を意識させることができます。

【 活用シートのまとめの提示例 】

(水飲み場)を使うときの やくそく

ゴミやはっぱをながさないようにしよう

使いおわったら、かならず止めよう

ゆかに水がこぼれたら、ぞうきんで、ふこう

みんなが使うものや場所

どうしたの

図書室で

ひどいよ。  
こんなによごれて  
しまったら、もう  
読んでもらえない。



考えよう

図書室で、みんなが気持ちよく使うためには、  
どんなことに気をつけるとよいでしょう。

やってみよう

みんなが気持ちよく使いたい場所には、  
どんなところがありますか。  
どんなやくそくが、ありますか。  
友だちや家の人にも、聞いてみましょう。



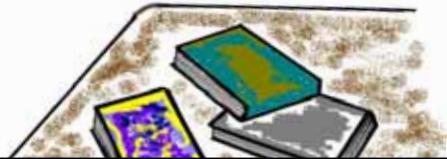
どうだったかな

友だちや家の人と、話し合えましたか。  
どんなやくそくがあるのか、わかりましたか。

話し合ったことや思ったこと

- 学校の中だけではなく、お店や公園や電車の中  
でもきまりを守っていく。

もう、読まないのかな。  
このままにしておいて  
いいのかな。



- 図書室の本が大切に扱われていない状況から、みんなが使う「もの」と「場所」について考えさせる。
- 粗末に扱われている本になったつもりで、ふきだしに言葉を書かせるなどして、同じようなことはないか、自分たちの生活を振り返るきっかけとする。

- よごさない。
- もとの場所にもどす。
- 大きな声で話さない。
- 次につかう人のことを考える。

周りの人や次に使う人のことを考え、みんなが気持ちよく使えるよう、気をつけることが大切であることをおさえる。

- みんなが  
気持ちよく使いたい -

【場所】

図書室、体育館  
教室、トイレ  
校庭  
公園  
バスや電車

【やくそく】

- ごみをちらかさない
- うるさくしない

みんなが使う具体的な「もの」や「場所」を想起させ、共通する約束やきまりがあることに気付かせる。

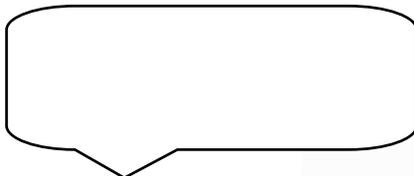
「心のノート」も読んでみよう。

年 組 番 名前 ( )

### みんなが使うものや場所

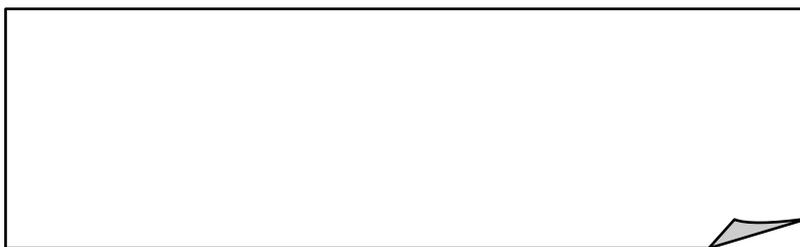
どうしたの

図書室で



考えよう

図書室で、みんなが気持ちよく使うためには、どんなことに気をつけるとよいでしょう。



やってみよう

みんなが気持ちよく使いたい場所には、  
どんなところがありますか。  
どんなやくそくが、ありますか。  
友だちや家の人にも、聞いてみましょう。



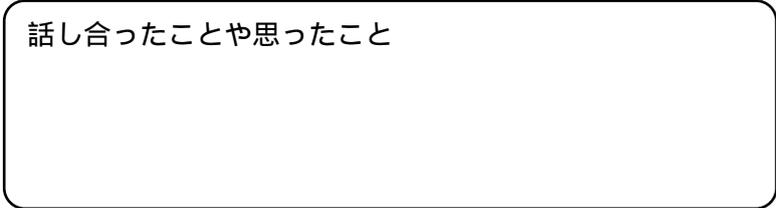
- みんなが  
気持ちよく使いたい -

【場所】

どうだったかな

友だちや家の人と、話し合えましたか。  
どんなやくそくがあるのか、わかりましたか。

話し合ったことや思ったこと



【やくそく】

「心のノート」も読んでみよう。

## 見えない相手とかかわること

インターネット・メールなどを使うとき

### 事例の考え方

様々な通信手段やツールの向こう側に、必ず人がいることを十分意識させ、知らず知らずのうちに相手の心を傷つけたり、トラブルに巻き込まれたりしないように指導することをねらいとしています。

子どもたちは、「総合的な学習の時間」や社会科でインターネットを使って調べたり、情報を発信したりしています。また、「掲示板」や「ウェブログ（ブログ）」などを家庭で使っている場合もあります。

指導にあたっては、倫理面と安全面の二つの視点が大切です。

### 活用場面例

【 総合的な学習の時間、学級活動、帰りの会  
道徳の時間（主として他の人とのかかわりに関すること） 】

インターネットを用いて調べる際、学習に直接関係のないサイトにアクセスしようとする子どもがいます。その行為をやめさせるだけでなく、モラルを意識させるチャンスととらえ、指導しましょう。

子どもたちの普段の会話で、「インターネット」、「メール」、「掲示板」などの言葉が聞こえるようになった場合には、躊躇なく、学級活動や帰りの会などで情報モラルを話題に取り上げてください。

### 展開のポイント

インターネット、メール、携帯電話など、新しい通信手段やツールに関するルールやマナー、「法」などは、まだ確立されていません。教材Cルール・マナー参考資料の参考シート、などを活用して、保護者への啓発を積極的に行ってください。

チェックリストについては、人間関係に関する項目と関連させながら確認させたり、話し合いをさせたりするとよいでしょう。

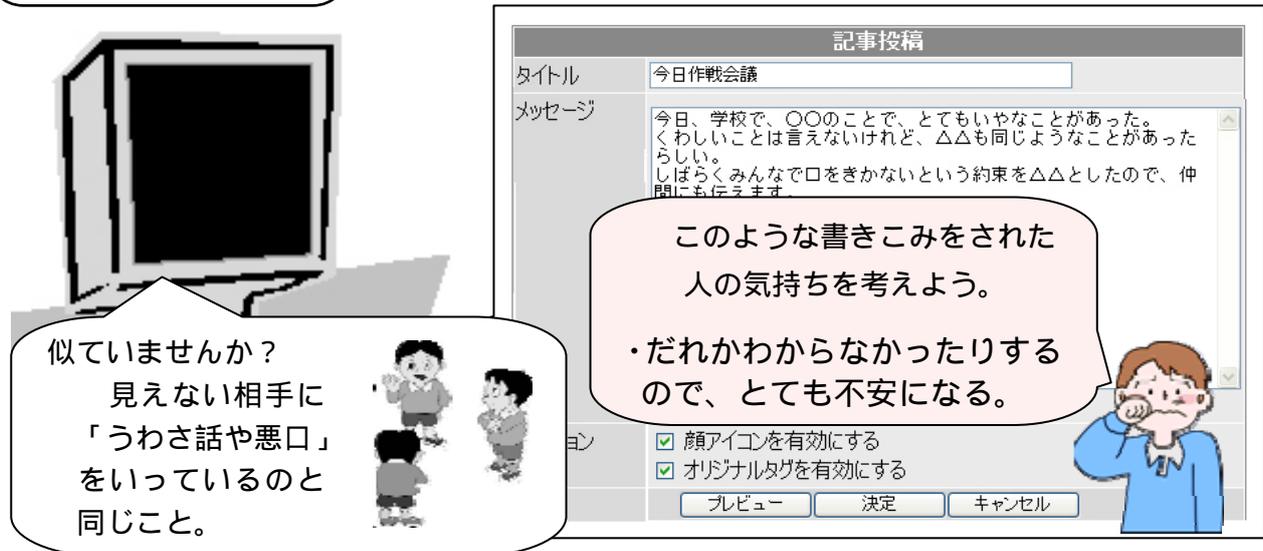
## 見えない相手とかかわること

インターネット・メールなどを使うとき

けいたい電話は、みなさんのおじいちゃんやおばあちゃんの子どもの時代には、まったくなかった新しい道具です。学校や家庭などで、話し合っ、みんなでよりよい利用のルール・マナーを考えましょう。

くらべてみよう

「けいじ板の書きこみ」と「友だちどうしでのうわさ話や悪口」



似ていませんか？  
見えない相手に「うわさ話や悪口」をいっているのと同じこと。

このような書きこみをされた人の気持ちを考えよう。

- ・だれかわからなかったりするので、とても不安になる。

記事投稿

タイトル 今日作戦会議

メッセージ 今日、学校で、〇〇のことで、とてもいやなことがあった。くわしいことは言えないけれど、△△も同じようなことがあったらしい。しばらくみんなで口をきかないという約束を△△としたので、仲間にも伝えます。

顔アイコンを有効にする  
 オリジナルタグを有効にする

プレビュー 決定 キャンセル

考えよう

この書きこみのいけないところはどんなところかな？

こんな書きこみを見つけたらどうするかな？

- ・ 人の悪口
- ・ ありもしないうわさ話
- ・ 他人の人権をふみにじる言葉
- ・ 他人のプライバシーに関すること

- ・ 先生や親にすぐに相談する。
- ・ 念のために書きこみのあるページ、日時などをほぞんしておく。

子どもたちから意見が出ない場合もあります。この例のように、「悪いこと」はきちんと教師側のメッセージとして伝える。

(保護者の方へお願い) インターネットやメールを使って、見えない相手とかかわるさいに、どのような注意が必要か、お子さんと話し合ってください。



人の悪口やうわさ話を書きこむことは、相手をふかくきずつけるので、いけないと思いました。言われるよりも、もっとつらいのではないかと話し合っ

パソコンは苦手という保護者にも話し合ってもらえるように、「見えない相手とかかわり」という人間関係のルール・マナーの問題として取り上げる。

「心のノート」も読んでみよう。

年 組 番 名前 ( )

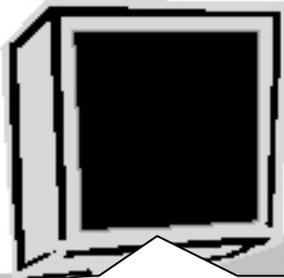
## 見えない相手とかかわること

インターネット・メールなどを使うとき

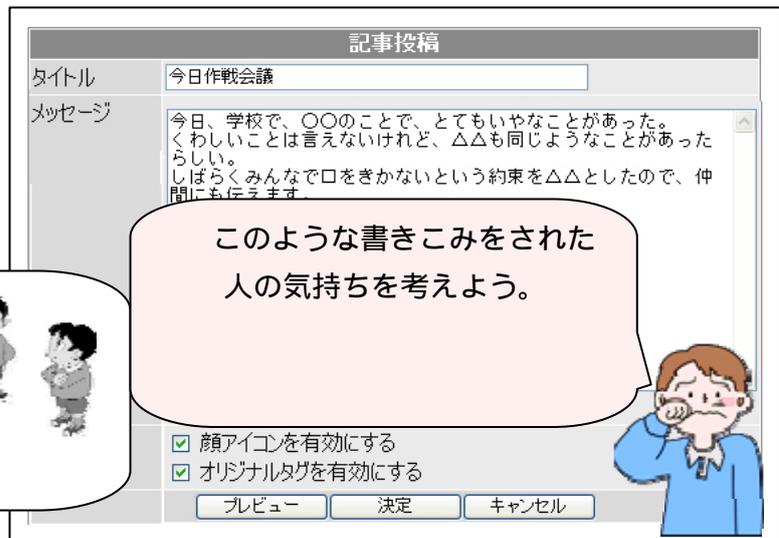
けいたい電話は、みなさんのおじいちゃんやおばあちゃんの子ども時代には、まったくなかった新しい道具です。学校や家庭などで、話し合って、みんなでよりよい利用のルール・マナーを考えましょう。

くらべてみよう

「けいじ板の書きこみ」と「友だちどうしでのうわさ話や悪口」



似ていませんか？  
見えない相手に  
「うわさ話や悪口」  
をいっているのと  
同じこと。



このような書きこみをされた  
人の気持ちを考えよう。



考えよう

この書きこみのいけないところはどんな  
ところでしょう？

こんな書きこみを見つけたらどうしますか？

(保護者の方へお願い) インターネットやメールを使って、見えない相手とかかわる  
さいに、どのような注意が必要か、お子さんと話し合ってください。



「心のノート」も読んでみよう。

## 学校生活のルールやマナーについて考える

## 事例の考え方

学校生活における学習や生活に関するルールやマナーを子どもたちと確認し、家庭でも話題にし、身近なルールやマナーについて関心を高めることをねらいとしています。

既存のルールを確認する場合と新しくルールをつくる場合の両方を想定し、話し合いを通して解決を図ります。みんなで話し合うためには、話し合いのテーマ（原案）が必要であることに気付かせます。

活用シート - 1、2、3、4の4枚のシートがあり、それぞれ間を置いて実施するように作成しています。

## 活用場面例

【 学級活動、帰りの会、係・委員会活動、道徳の時間（主として集団や社会とのかかわりに関すること） 】

年度や学期の初めに、目標やきまりを確認する際に活用できます。規律ある生活を意識させたい時期に実施します。

活用シート - 1に示した項目のうち生活に関するルールやマナーは、学級だけでなく、係や委員会活動の話し合いで取り上げると効果的です。

学習に関するルールやマナーは、学習の発表の少し前（例えば2、3週間前）や学習のまとめの時期に、チェックさせると集団全体の意識が高まりやすくなります。

## 展開のポイント

活用シート - 1でチェックした結果を、通信にまとめるなどして、子どもたちと保護者に伝え、家庭でも話題にしてもらうよう働きかけます。

それぞれのシートを用いた話し合いのプロセスを、通信や報告にまとめ、学級の係、委員会の委員へのメッセージとして発信することも考えられます。



## 学校生活のルールやマナーについて考える

～ 身近なルールやマナーの確認・ルールづくりの手順 ～

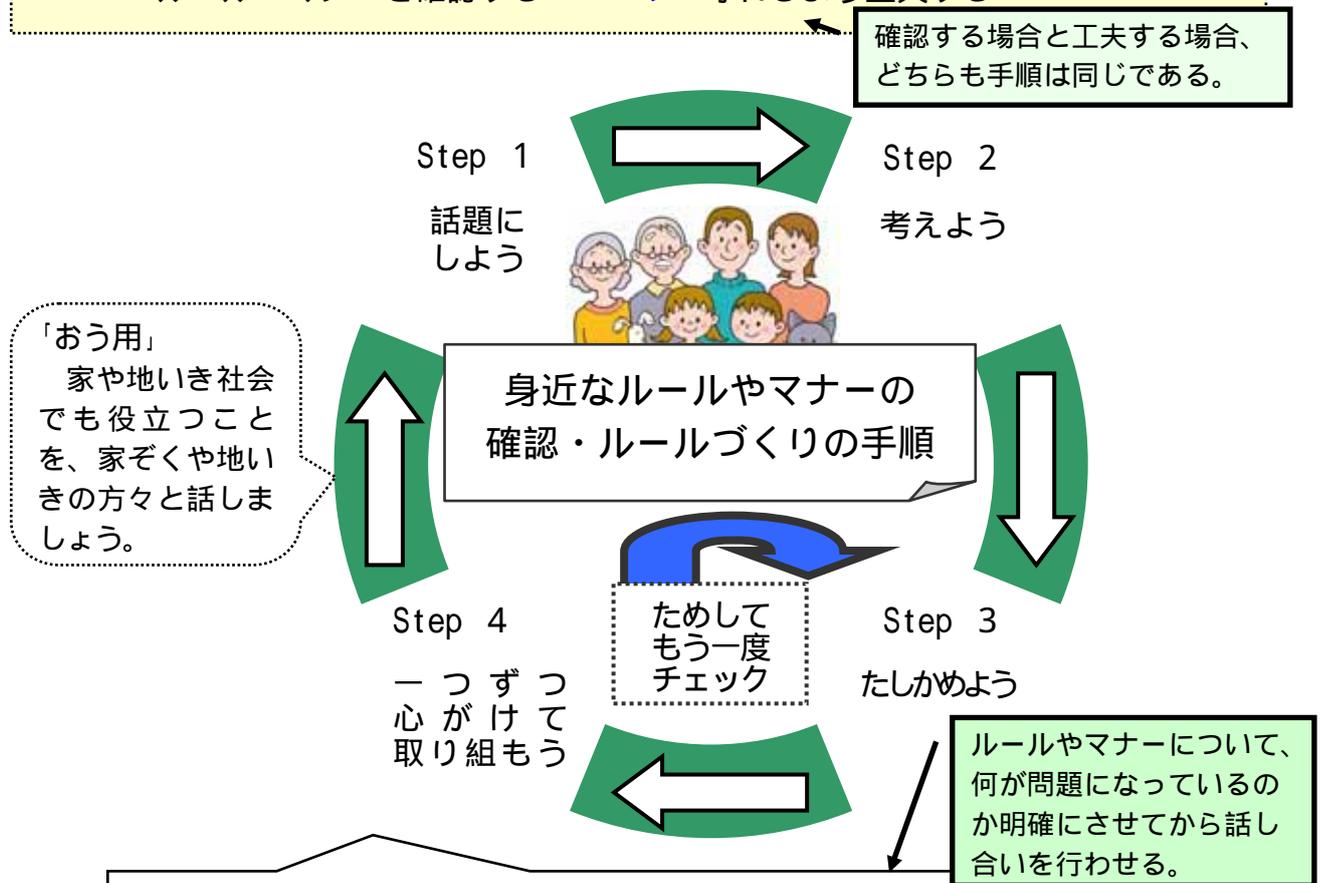
みんなが協力し合える過ごしやすい学校、学級をつくるために、今、どんなことが問題になっているか話題にしましょう。

( 下の図「Step 1 話題にしよう」)

その問題を、ルールを使ってどのように解決したらよいか考えましょう。

ルール・マナーを確認する      守れるよう工夫する

確認する場合と工夫する場合、どちらも手順は同じである。



### ルールやマナーの確認・工夫のチェックポイント

- ルールの目的は何かな？その目的は正しいかな？
- ルールの内容は、はっきりしているかな？
- ルールは守られるような工夫ができているかな？
- みんなに公平なルールになっている？
- みんなが納得できる決め方でできたかな？
- みんなのアイデアを引き出せたかな？
- ルールではなく、みんなで心がけるマナーでもよいのでは？
- みんなが決めたことを受け入れられたかな？
- 保護者・先生たちにも確認してもらったかな？

年 組 番 名前 ( )

## 学校生活のルールやマナーについて考える

～ Step 2 考えよう ～

### 話し合い・発表

学級でたしかめたいルールやマナーについて、グループで話し合って、そのけっかを発表しましょう。

(1) グループでの話し合うためのメモ

たしかめるルールやマナーは何ですか？（新しくつくる時は、<sup>あん</sup>案を書く。）

人のうわさ話から、悪口にならないように注意する。

そのルールやマナーが守られると、どうなるか考えましょう。  
守られない場合も考えましょう。

守られると

- ・ いやな思いをする人がへって、みんなが気持ちよくすごせる。

守られないと

- ・ 自分のいないところで悪口を言われているのではないかと不安になる。
- ・ 「いじめ」がふえてしまう。

守られない場合に起こる問題の深刻さを理解することが大切であることを、全体で確認する。

そのルールやマナーのタイプをたしかめましょう。（のらんにチェックしましょう。）

守ると、みんなが安全にすごせる。守らないと、自分や友だちにきけんなことがあるかもしれない。（安全に）

- ✓ 守ると、みんなが仲よくすごせる。守らないと、トラブルやけんかがおこるかもしれない。（なかよく）
- ✓ 守ると、みんなが気持ちよくすごせる。守らないと、多くの人にめいわくをかけたり、いやな思いをさせたりする。（こちよく）

三つともチェックが付くものほど、優先させるべき重要なルールやマナーである。

どのような工夫をすると、そのルールやマナーは、みんなが守るようになるでしょう？例を出し合ってみましょう。

- ・ 守らない人を注意する。ばつをあたえる。
- ・ わすれないように、よびかけ、ポスターなどをつくる。
- ・ 友だちのよいところを見つけるようにする。

「罰を与える」だけでは、根本的な解決にはならないので、下の二つの例のような工夫を考えさせる。

(2) 発表のためのメモ

#### 1 班の例

- ・ ルール：「相手をいやな気持ちにさせる言葉をへらそう」
- ・ 工夫：毎日の生活の中で、「気になる言葉」をカードに書いてもらって用語集にまとめ、みんなが言葉に気をつけるようにしてもらおう。

## 学校生活のルールやマナーについて考える

### ～ Step 3 確かめよう ～

#### 話し合い

司会者や各グループの代表など、まとめ役の人が原案をつくり、全体で決めましょう。

#### (1) 原案づくりのためのメモ

Step 2 で発表されたグループ案のよいところを見つけましょう。

1 班の案について

- ・ルール：「相手をいやな気持ちにさせる言葉をへらそう」  
「へらそう」なら、みんな無理なくできそう。
- ・工夫：人をきずつけるいやな言葉ばかりならんでいると読みたくない。

みんながもっとも守れそうな案を考えて、友だちと話し合いましょう。

(いくつかのグループの案のよいところを組み合わせる。)

- ・ルール：「相手をいやな気持ちにさせる言葉をへらそう」  
「気になる言葉」には、よい言葉、みんなをはげます言葉もくわえる。  
“あたたか言葉”と“チクチク言葉”  
“あたたか言葉”を言ってもらったら、お礼を言おう。

「決め方」をたしかめましょう。

- ✓ みんなが意見を出せましたか？
- ✓ ちがった立場の意見も出せましたか？
- ✓ わかりやすく、みんなに公平になっていますか？
- ✓ みんなが守ろうと思えましたか？(合意)

(教師の確認の例)

用語集をつくることを、教職員の会議で検討するなど、ルールを決定するまでには、必要な手順をふむことを指導する。

#### (2) 全体で決めるときのメモ

多数決で決める前にチェックしてください。

- ✓ 代表に案を決めてもらうときは、自分の考えを伝えましたか？
- ✓ グループの案を全体で確認して、みんなで守ろうと思えましたか？(合意)
- ✓ 先生たちにも確認してもらえましたか？  
ルールによっては、多くの先生に確認してもらうことが必要です。

みんなでルールをたしかめたことについて、感じたことや気がついたことなどを書きましょう。

- ・ルールづくりは、とても時間がかかることが分かりました。
- ・きちんとみんなで話し合っただけで決めたことは、先生たちにもよく聞いてもらえることが分かってよかった。

(お家の方へお願い) 学校でお子さんがルールやマナーについて考えたことについて、ご家庭でも話題にして、意見や感想をお子さんに伝えてください。



家族の話  
を聞いて

【母の言葉】大人が「～してはいけない」と全てに対して言うのではなく、子どもたちに考えさせることはすばらしいことです。

家庭でのルールやマナーの確認も同じようにできることを伝え、家庭でも話し合い考えるよう促す。



年 組 番 名前 ( )

## 学校生活のルールやマナーについて考える

～ 身近なルールやマナーの確認・ルールづくりの手順 ～

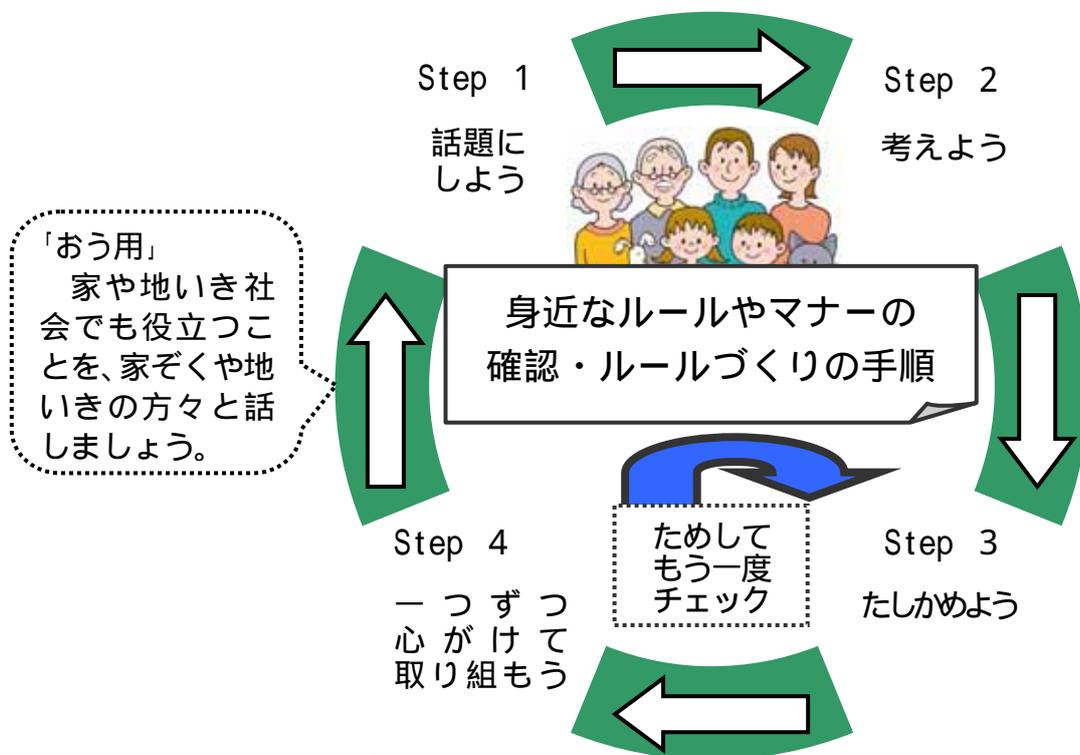
みんなが協力し合える過ごしやすい学校、学級をつくるために、今、どんなことが問題になっているか話題にしましょう。

( 下の図「Step 1 話題にしよう」)

その問題を、ルールを使ってどのように解決したらよいか考えましょう。

ルール・マナーを確認する

守れるよう工夫する



### ルールやマナーの確認・工夫のチェックポイント

- ルールの目的は何かな？ その目的は正しいかな？
- ルールの内容は、はっきりしているかな？
- ルールは守られるような工夫ができているかな？
- みんなに公平なルールになっている？
- みんなが納得できる決め方でできたかな？
- みんなのアイデアを引き出せたかな？
- ルールではなく、みんなで心がけるマナーでもよいのでは？
- みんなが決めたことを受け入れられたかな？
- 保護者・先生たちにも確認してもらったかな？

年 組 番 名前 ( )

## 学校生活のルールやマナーについて考える

～ Step 2 考えよう ～

### 話し合い・発表

学級でたしかめたいルールやマナーについて、グループで話し合っ、そのけっかを発表しましう。

(1) グループでの話し合うためのメモ

たしかめるルールやマナーは何ですか？(新しくつくるときは、案<sup>あん</sup>を書く。)

そのルールやマナーが守られると、どうなるか考えましよう。  
守られない場合も考えましよう。

守られると

守られないと

そのルールやマナーのタイプをたしかめましよう。(のらんにチェックしましよう。)

守ると、みんなが安全にすごせる。守らないと、自分や友だちにきけんなことがあるかもしれない。(安全に)

守ると、みんなが仲よくすごせる。守らないと、トラブルやけんかがおこるかもしれない。(なかよく)

守ると、みんなが気持ちよくすごせる。守らないと、多くの人にめいわくをかけたり、いやな思いをさせたりする。(ここちよく)

どのような工夫をすると、そのルールやマナーは、みんなが守るようになるでしよう？例を出し合ってみましよう。

(2) 発表のためのメモ

年 組 番 名前 ( )

## 学校生活のルールやマナーについて考える

～ Step 3 確かめよう ～

### 話し合い

司会者や各グループの代表など、まとめ役の人が原案をつくり、全体で決めましょう。

(1) 原案づくりのためのメモ

Step 2 で発表されたグループ案のよいところを見つけましょう。

みんながもっとも守れそうな案を考えて、友だちと話し合いましょう。  
(いくつかのグループの案のよいところを組み合わせる。)

「決め方」をたしかめましょう。

- みんなが意見を出せましたか？
- ちがった立場の意見も出せましたか？
- わかりやすく、みんなに公平になっていますか？
- みんなが守ろうと思えましたか？(合意)

(2) 全体で決めるときのメモ

多数決で決める前にチェックしてください。

- 代表に案を決めてもらうときは、自分の考えを伝えましたか？
- グループの案を全体で確認して、みんなで守ろうと思えましたか？(合意)
- 先生たちにも確認してもらえましたか？

ルールによっては、多くの先生に確認してもらう必要があります。

みんなでルールをたしかめたことについて、感じたことや気がついたことなどを書きましょう。

(お家の方へお願い) 学校でお子さんがルールやマナーについて考えたことについて、ご家庭でも話題にして、意見や感想をお子さんに伝えてください。



## 第3章

# 教材B 「親学習プログラム」を アレンジしたシート 【保護者、教師、一般】

学校と家庭が連携協力し、保護者同士が交流し、  
支え合える関係づくりを促します

- 保護者会や学級懇談会などの機会に、保護者同士の話し合いのきっかけづくりに用います。
- 20分から30分の時間で展開できます。
- 3種類のシートがあり、それぞれ展開のポイントを例示したシートと配布用のシートがあります。
- カラー版は、Webページからダウンロードできます。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kihan> (PDF版、Word版)

	内 容	ページ
親学習シート〔幼・小〕	子どもの思い・大人の役割について考えてみましょう	60 - 61
親学習シート〔幼・小〕	楽しく生活していますか？ ～遊びと学習～	62 - 63
親学習シート〔幼・小〕	子どもとのコミュニケーション大作戦	64 - 65

## 子どもの思い・大人の役割について考えてみましょう

[所要時間：20～30分] 対象：保護者・教師・一般

昔は叱ったり叱られたりする関係が地域社会の中にあり、多くの目で子どもを育てる環境にありました。現在はこのような地域社会の関係を親同士でつくっていかねばなりません。

ここでは、自分の子どもだけでなく他の子どもに対しても、何が大切で、どのようにかかわっていったらよいのか話し合ってみましょう。

### ♪エピソード♪

親学習  
ワーク1

+

親学習  
ワーク2

〔グループ、個人〕

幼稚園（保育園）がお休みのある日、年中組の仲良しの友達と園の近くの公園へお弁当を持って遊びに行きました。母親同士の話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎていきました。

子ども達を見るとTVのヒーローごっこをしています。それぞれがなりたいヒーローになって走り回っていました。

しばらくすると、りゅうじ君が、他の子たちに囲まれています。どうやら悪者役になったようです。他のヒーロー役の子たちからパンチやキックの真似が飛びだしはじめました。子ども達は徐々にエスカレートし本当に体に当たっています。りゅうじ君は泣きそうになりながら「やめてよ」と言っています。

周りのお母さん達は見ているだけで誰も止めようとしません。りゅうじ君のお母さんは下を向いてしまいました。・・・



エピソードを読み、次の 、 のそれぞれの立場だったら、誰に、どのように言葉かけをしますか。実際にやってみましょう。

りゅうじ君のお母さんだったら ←

子どもには、事細かに注意や指示をするより、「私は」を主語にして、「うれしい」「悲しい」という気持ちを言葉に表したほうが効果的な場合もある。

一緒に遊んでいる子どもの親の立場なら

あなたの行動や言葉は、どのように受け止められるでしょう。周りの人に感想を聞いてみましょう。

← 実際に言葉にすることで、感じ方や考え方の違いに気づいたり、相手への気遣いが必要であることを理解したりできる。

親学習  
ワーク3

大人の役割として、どんなことがあるでしょうか。ワークを振り返って話し合ってみましょう。〔グループ・学級、個別〕

ふりかえり

プログラムを通して、どのようなことに気づきましたか。〔個人〕

## 子どもの思い・大人の役割について考えてみましょう

[所要時間：20～30分] 対象：保護者・教師・一般

昔は叱ったり叱られたりする関係が地域社会の中にあり、多くの目で子どもを育てる環境にありました。現在はこのような地域社会の関係を親同士でつくっていかねばなりません。

ここでは、自分の子どもだけでなく他の子どもに対しても、何が大切で、どのようにかかわっていったらよいのか話し合ってみましょう。

### ♪エピソード♪

親学習  
ワーク1

+

親学習  
ワーク2

〔グループ、個人〕

幼稚園（保育園）がお休みのある日、年中組の仲良しの友達と園の近くの公園へお弁当を持って遊びに行きました。母親同士の話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎていきました。

子ども達を見るとTVのヒーローごっこをしています。それぞれがなりたいヒーローになって走り回っていました。

しばらくすると、りゅうじ君が、他の子たちに囲まれています。どうやら悪者役になったようです。他のヒーロー役の子たちからパンチやキックの真似が飛びだしはじめました。子ども達は徐々にエスカレートし本当に体に当たっています。りゅうじ君は泣きそうになりながら「やめてよ」と言っています。

周りのお母さん達は見ているだけで誰も止めようとしません。りゅうじ君のお母さんは下を向いてしまいました。・・・



エピソードを読み、次の 、 のそれぞれの立場だったら、誰に、どのように言葉かけをしますか。実際にやってみましょう。

りゅうじ君のお母さんだったら

一緒に遊んでいる子どもの親の立場なら

あなたの行動や言葉は、どのように受け止められるでしょう。周りの人に感想を聞いてみましょう。

親学習  
ワーク3

大人の役割として、どんなことがあるでしょうか。ワークを振り返って話し合ってみましょう。〔グループ・学級、個別〕

ふりかえり

プログラムを通して、どのようなことに気づきましたか。〔個人〕

楽しく生活してますか？ ～遊びと学習～

〔所要時間：20～30分〕 対象：保護者・教師・一般

みなさんが子どもの頃と、今のお子さんの生活とではずいぶんと違いがあるのではないのでしょうか？あなたの子どもの頃を思い出しながら、今のお子さんの生活についてあらためて見直してみましよう。

♪エピソード♪

2年生の太郎君は外遊びが大好きな元気いっぱいの男の子です。その太郎君は、今日宿題を忘れてしまいました。太郎君は昨日、習い事のスイミングがあり、疲れてしまい、つい宿題をやらないうで寝てしまったのです。担任の先生には、忘れた宿題をやるように言われ、気まずい思いをしました。



親学習  
ワーク1

エピソードを読み、次のことについて話し合いましよう。〔グループ、個人〕

あなたのお子さんもエピソードと同じような体験はないでしょうか？

	ファシリテーターが自分の失敗談を話すなどして、参加者が話しやすいきっかけ作りをする。
--	--

そのときお子さんはどんな気持ちだったのでしょうか？

--

親学習  
ワーク3

お子さんの生活について考えてみましょう。〔個人、グループ〕

お子さんが自分で計画を立てて、何か実行している時間はありますか。そのことについて、最近の1週間をふりかえり、表にまとめてみましょう。

	時間	内容	そのことについて話したこと
平日		書き込みを行うことで、子どもの生活を見直すことができる。また、時間の使い方に無理はないか、子どもが自身が計画・実行する機会があるかななどを再確認する。	
土・日・休日			

書き込んだ内容について、グループ内で情報交換をしましよう。

（注：「習い事をさせる、させない」という話題ではありません。）

ふりかえり

プログラムを通して、どのようなことに気づきましたか。〔個人〕

## 楽しく生活していますか？ ～遊びと学習～

〔所要時間：20～30分〕 対象：保護者・教師・一般

みなさんが子どもの頃と、今のお子さんの生活とではずいぶんと違いがあるのではないのでしょうか？あなたの子どもの頃を思い出しながら、今のお子さんの生活についてあらためて見直してみましよう。

### ♪エピソード♪

2年生の太郎君は外遊びが大好きな元気いっぱいの男の子です。その太郎君は、今日宿題を忘れてしまいました。太郎君は昨日、習い事のスイミングがあり、疲れてしまい、つい宿題をやらないうで寝てしまったのです。担任の先生には、忘れた宿題をやるように言われ、気まずい思いをしました。



#### 親学習 ワーク1

エピソードを読み、次のことについて話し合いましよう。〔グループ、個人〕

あなたのお子さんもエピソードと同じような体験はないでしょうか？

そのときお子さんはどんな気持ちだったのでしょうか？

#### 親学習 ワーク3

お子さんの生活について考えてみましょう。〔個人、グループ〕

お子さんが自分で計画を立てて、何か実行している時間がありますか。そのことについて、最近の1週間をふりかえり、表にまとめてみましょう。

	時間	内容	そのことについて話したこと
平日			
土・日・休日			

書き込んだ内容について、グループ内で情報交換をしましよう。

（注：「習い事をさせる、させない」という話題ではありません。）

#### ふりかえり

プログラムを通して、どのようなことに気づきましたか。〔個人〕

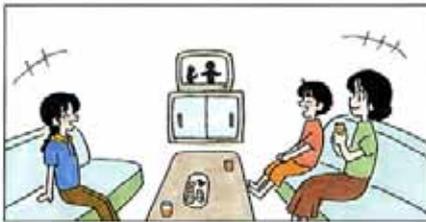
## 子どもとのコミュニケーション大作戦

〔所要時間：20～30分〕 対象：保護者・教師・一般

最近、お子さんとコミュニケーションをとっていますか？「毎日、話している」といっても、小言ばかり・・・ということはありませんか。

お子さんといっしょに、何かを楽しんだり、何かに取り組んだりして会話のきっかけをつくりましょう。みなさんで作戦会議を開きましょう。

### ♪4コマまんが♪



1 3  
2 4



あなたの家でもこのような場面はありませんか？

- ・「お父さんをさけてしまうようになった」
- ・「話しかけても対話にならない」

あなたにもこのような時期がありませんでしたか？

まんが「平成16年度 家庭教育資料「思春期の子どもを理解するために」第1巻より 渡邊芳子さん

### 親学習ワーク2

あなたはお子さんと、最近、どんな話をしましたか？それはどんなことを一緒にしていたときですか。できるだけ、お子さんの表情が和らいで、会話が続いたときをふり返ってみましょう。〔グループ・学級、個別〕

← ファシリテーター自身の体験を先に話すと参加者も話しやすくなります。具体例を挙げるなどして、些細なことでもよいということを説明する。

### 親学習ワーク3

お子さんとのコミュニケーションをさらに深めるとしたら・・・どんなことを一緒にしたいですか。〔グループ・学級、個別〕

グループワークのときの言葉かけ

「グループで話し合い、実現するための方策を立ててみましょう。」

一対一の時の言葉かけ〔個別面談〕

「私（教師）と話して、実現するための方策を立ててみましょう。」

あなたが一緒にしたいと思うこと	話し合った方策

← 効果的な方法を学ぶことより、きっかけを見つけることをねらいとして行う。

### ふりかえり

それぞれのアイディアから、どのようなことに気づきましたか。〔個人〕

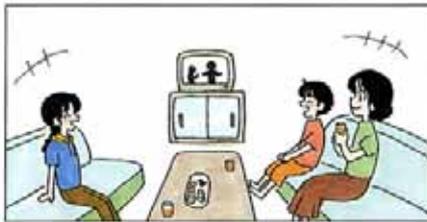
## 子どもとのコミュニケーション大作戦

〔所要時間：20～30分〕 対象：保護者・教師・一般

最近、お子さんとコミュニケーションをとっていますか？「毎日、話している」といっても、小言ばかり・・・ということはありませんか。

お子さんといっしょに、何かを楽しんだり、何かに取り組んだりして会話のきっかけをつくりましょう。みなさんで作戦会議を開きましょう。

### ♪4コマまんが♪



1 3  
2 4



あなたの家でもこのような場面はありませんか？

- ・「お父さんをさけてしまうようになった」
- ・「話しかけても対話にならない」

あなたにもこのような時期が有りませんでしたか？

まんが「平成16年度 家庭教育資料「思春期の子どもを理解するために 第1巻」より 渡邊芳子さん

#### 親学習ワーク2

あなたはお子さんと、最近、どんな話をしましたか？それはどんなことを一緒にしていたときですか。できるだけ、お子さんの表情が和らいで、会話が続いたときをふり返ってみましょう。〔グループ・学級、個別〕

--

#### 親学習ワーク3

お子さんとのコミュニケーションをさらに深めるとしたら・・・どんなことを一緒にしたいですか。〔グループ・学級、個別〕

グループワークのときの言葉かけ

「グループで話し合い、実現するための方策を立ててみましょう。」

一対一の時の言葉かけ〔個別面談〕

「私（教師）と話して、実現するための方策を立ててみましょう。」

あなたが一緒にしたいと思うこと	話し合った方策

#### ふりかえり

それぞれのアイディアから、どのようなことに気づきましたか。〔個人〕

## 第4章

### 教材C ルール・マナー参考資料

#### 【 児童、保護者、教師、一般 】

身近なルールやマナー、法などについて、理解を深めるための教材  
身近なルールやマナーを考えるためのきっかけをつくります

- 教材A 1、A 2の活用シートと組み合わせて用いるチェックシートや読み物資料です。
- 6種類のシートがあります。
- カラー版は、Web ページからダウンロードできます。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kihan> (PDF 版、Word 版)

内 容		ページ
参考シート〔幼・小〕	ルール・マナー チェックシート	68
参考シート	もしも、ルールやマナーのない町になったら？	69
参考シート	ルールやマナーのもとになるものはなに？	70
参考シート	「法（ほう）」とはどんなもの？	71
参考シート	家族みんなで考える情報モラル	72
参考シート	家庭でも情報のルールづくり	73

参考シート 、 は、保護者、教師、一般向けに作成しています。

## ルール・マナー チェックシート

ここでは、日常生活の三つの場面について、具体的なルールやマナーを例示しました。言葉や表現を変えたり、新たに項目を加えたりして、自分たちの大切にしたいルールやマナーを、みんなと確認してください。

そして、確認したルールやマナーについて、身近なことから一つずつ心がけて取り組みましょう。

項目の選び方・チェック欄の活用の仕方

「できているか」、「やろうとしているか」、「大切だと思うか」などの観点でチェックしてください。

### 家にいるとき・家ぞくとすごすとき

「家ぞくみんなが、けんこうで気持ちよく、すごすために」

チェック欄

	家ぞくにあいさつをする。
	早ね早おきをして朝食を食べる。
	「いただきます」「ごちそうさま」を言う。
	あとかたづけや手つだいをする。
	くつやスリッパをぬいたらそろえる。
	ねる前につぎの日のじゅんぴをする。

### さまざまな人とかかわるとき

「人と人が心をかよわせるために」

	あい手の目を見て、「あいさつやへんじをする」「話を聞く」「話をする」。
	めいわくをかけたら「ごめんなさい」を、助けてもらったら「ありがとう」を言う。
	おとなと話すときは、ていねいなことばを使う。
	やくそくを守る。
	かりたものは、きめた日までにかえす。
	まちがったことやきけんなさそいは、ことわる( どのようにことわったらよいか考えよう)。
	友だちとけんかをしてもなかなおりする。
	人のわる口を言わない( どんなことばがわる口になってしまうか考えよう)。

### 出かけるとき・乗り物に乗るとき・お店に入るとき

「たくさんの人が、安全に気持ちよく、すごすために」

	じゅん番を守り、わりこみをしない。
	電車やバス、エレベーターやトイレでは、出る人を先にする。
	ごみのポイすてをしない。
	手に取った商品はていねいにあつかい、買い物のカートはきちんともどす。
	お客だからといってわがまを言わない( どのように話しかけたらよいか考えよう)。
	お店の前ですわりこんだり食べものを食べたりしない。
	お店の中、バスや電車の中では大声で話をしない。
	お年よりや体の不自由な人に席をゆずる。



## もしも、ルールやマナーのない町になったら？



私たちの身のまわりにある、たくさんのルールやマナー。注意する方も注意される方も「めんどうだな」、「なければいいのに」と思ったことはありませんか？

家、学校、町から、ルールやマナーがなくなったら、どんなことがこまるかをことばにあらわしてみよう。

家では



学校では



町では



### 【大切なこと】

ルールやマナーはあるのがあたりまえとっていますが、なくなると、おかしなこと、困ったことが次々と起こります。また、すぐには困らないけれど、あとでたいへんなことが起こる場合もあります。



## ルールやマナーのもとになるものはなに？



《 ルールあるいはマナーの例 》

ア

家の人、近所の人、友だちや先生にあいさつをする。

むかしからみんながそうしているから？

イ

友だちをいじめてはいけない。

いじめられたらいやだし、いじめられた子がかわいそうだから？

ウ

私の毎月のおこづかいは、  
円である。

今できまっていなかったけれど、今月からおとうさんとやくそくしたよ。

身のまわりにあるルールやマナーのもとになって考え方には、次のようなものがあります。

### 【 慣習（かんしゅう） 】

家や学校、職場、地域社会のそれぞれの場で、ふだんの生活で行われているものと、行事のときだけ行われるものがあります。

### 【 道徳（どうとく） 】

私たちは、相手の身になって感じたり、みんなのため、社会のためという気持ちをもったりします。また、そうすることで、自分もよりよく生きられると、みんなが共通に思う考え方があります。

### 【 合意（ごうい） 】

話し合って意見を合わせてきめたことからできたもので、「約束」、「契約（けいやく）」という考え方と共通するものです。

### 【大切なこと】

「慣習」、「道徳」、「合意」は別々のものではありません。たとえば、「昔から守ってきたけれど、自分やまわりの多くの人もそれをよいものとして認めている。それを、話し合っただけで確認をした」というように、「慣習」、「道徳」、「合意」は、つねにかかわり合いながらルールをささえています。

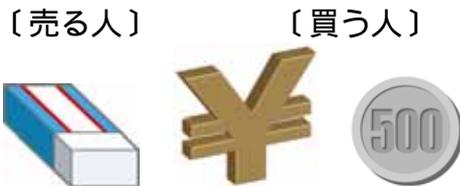


## 「法（ほう）」とはどんなもの？



身のまわりにあるルールのうち、社会のみんなが同じように理解して守っていかないと  
いけないルールは、文章にして分かるようにしてあります。

(例) 「法律（ほうりつ）」、「条例（じょうれい）」

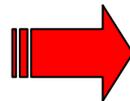


「ものを買ったらお金をはらう」



- ✓ ものを買ったらお金をはらうのは、当たり前のこと。
- ✓ もし、「はらわないよ！」という人が出るとこまるね。
- ✓ よけいにお金をとられたらこまるね。

- 「お金」というものがないときから、ものをやりとりするしきたりがあります。
- 一部の人がだけ得をしたり損をしたりしないように、みんなで合意したことを、文章にしておきます。
- 日本では、「民法」というものになる法律があります。



ものを買うことについての約束  
 売買 ..... 契約  
 (ばいばい) (けいやく)

### 【大切なこと】

- ✚ 「法律」や「条例」などは、私たちの家や学校、地域だけでなく、多くの人の「自由」や社会全体の利益を守ることを考えてつくられています。
- ✚ 「法律」や「条例」などに書かれている文章を、自分に都合のよい読み方を  
してはいけません。
- ✚ 今ある「法律」や「条例」などをもとに、みんなで話し合いながら問題を解  
決していくことが大切です。



## 家族みんなで考える情報モラル

### 【大切なこと】

- ✚ 多くの人とネットワークを介してつながりをもつことができます。しかし、何の制限もないと、極端な考え方、悪意をもった人と出会う危険があります。
- ✚ みんなが、適切かつ安全にネットワークを利用するためには、ルールやマナーが必要です。どのようなことが必要か、家や学校で話し合ってみましょう。
- ✚ 自分で責任をもって情報ツールを使いこなすのは、大人でも難しいことです。状況によっては、保護者が子どもに対して、所持や使用を制限したり、禁止したりすることが必要です。

### メールやインターネットを使うとき〔例〕

学校と家庭の両方で確認しよう

#### チェック欄の活用の仕方

自分は、「できている」と思う人は、「できていないときもある」と思う人は、「あまり考えていない」と思う人は何もつけないください。

チェック	項 目
	パソコン、ゲーム、携帯電話を持つ場合、必ず家族でルールをつくる。 (例)「時間を決めて利用する」、「家族がいるところで利用する」 「掲示板の書き込みはしない」
	インターネット上には、不確かな情報も含まれているので、一つのページだけを見て判断しない。
	インターネット上には、危険な情報があるので、危ないと思われるページは開かない。
	契約を求めるようなページは、保護者がいないとできないので開かない。
	メールやインターネット上に、人のうわさ話や個人の情報をのせない。
	すぐにメールが返信できないことがあるので、返事が遅れても怒らない。
	すぐにメールが返信できないことがあるので、返事がこないからといって不安にならない。

(保護者の方へお願い) お家の方がインターネットやメールを使うとき、ご自身が心がけていることを、お子さんにお話してください。





## 家庭でも情報のルールづくり

～ みんなが「安全に」ネットワーク社会とかかわるために ～

「日本PTA全国協議会」は「子どもとメディアに関する意識調査 調査結果報告書 平成19年3月(平成18年11月実施)」の結果を発表しました。次の表のように、多くの小学生・中学生が、家庭でインターネットを利用しているにもかかわらず、その利用方法やマナーについてルールがあると回答している割合が半数に満たない状況です。また、携帯電話やPHSについても、子供専用のものではなく、一般の大人と同じ機能のものを所持する割合が高いのが特徴です。

項 目		小5 (%)	中2 (%)	
インターネット の利用	インターネットを利用(接続)している	73.0	83.7	
	インターネットの利用方法 やマナーについて	ルールがある	43.9	33.5
		ルールがない	36.5	54.2
		無回答	19.6	12.3
携帯電話・PHS の利用	子ども専用の携帯電話・PHSを持っている	6.4	1.0	
	一般の携帯電話・PHSを持っている	10.3	41.3	
	携帯電話・PHSは持っていない	77.7	51.8	
	無回答	5.6	5.8	

子どもが一人でパソコンや携帯電話で、インターネットやメールを使うのは、車の往来の激しい通りを子ども一人で歩くようなものと考えられます。世界中につながるといふ魅力は、一人で文化や習慣の違う国の街角に立つような状況と似ています。学習に役立つ情報も多く、知的好奇心をかき立てる面もありますが、一方では有害情報も多く存在し、思いもよらぬところに危険が潜んでいるということもあります。

ネット社会では、現実の社会と同じルールやマナーを守ることが求められます。ネットワークを使う際の約束を家庭で話し合っ決めておくことも大切です。安全のために利用を制限したり、禁止したりすることもあるということを、保護者が子どもとの間で確認しましょう。

具体的には、家庭でインターネットを使う際には、有害情報を制限する手立てを講じることが大切です。例えば、コンピュータの設置場所を、家族がいっしょに過ごす時間の多い居間にすることや、フィルタリングソフトを導入することなどが考えられます。

幼児、小学生、中学生、高校生に対する教育、保護などの観点から、家族で話し合っ適切なルールをつくりましょう。

## 引用データ及び参考文献

本指導資料の中で紹介しているデータは、以下の調査から引用しました。子どもたち、保護者、教職員などの意識の現状を把握するために活用してください。

また、それぞれの学校のアンケートや学校評価の項目に、これらの質問項目を用いて比較検討を行うなどの活用が考えられます。

### 文部科学省 > 教育

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/a002.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/a002.htm)

### 栃木県教育委員会 > 児童生徒指導推進室

<http://www.pref.tochigi.jp/education/gakkoukyouiku/seitoshidou/1182421286322.html>

「平成 19 年度栃木県政世論調査」 (平成 19 年 5 月・6 月実施 栃木県)

<http://www.pref.tochigi.jp/pref/kouhou/iken/yoron19.index.html>

「子どもたちのコミュニケーションに関する調査(集計結果速報)」

～ 集団における望ましい人間関係づくりに関する調査研究

(平成 19 年 6 月実施 栃木県総合教育センター)

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/communications-h19/index.htm>

「子どもの生活に関する調査」 - 子どもの規範意識を高めるために -

(平成 17 年 7 月実施 栃木県総合教育センター)

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/seikatsu-h17/h17-seikatsu.htm>

「児童生徒の生活状況調査」 (平成 15 年 10 月実施 栃木県総合教育センター)

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/seikatsu/cyosakekka.htm>

「子どもとメディアに関する意識調査 調査結果報告書」

(平成 18 年 11 月実施 社団法人日本 PTA 全国協議会)

[http://www.nrsquare.com/pta/book\\_kodomotomedia\\_h19/](http://www.nrsquare.com/pta/book_kodomotomedia_h19/)

小学生のための法教育指導資料「ルールで き・ま・り！」

ひたちなか市教育委員会(2007年)

道徳・特別活動・総合的な学習の時間を統合 小中一貫教育 市民科セット

「品川区教育委員会市民科カリキュラム作成部会」編・教育出版(2006年4月発行)

はじめての法教育 みんなでくらすために必要なこと 全5巻

日本弁護士連合会「市民のための法教育委員会」編・岩崎書店(2007年3月発行)

# 「平成19年度とちぎの徳育推進事業」 規範意識に関する指導資料作成委員会

## 委員長

宇都宮大学教育学部 学部長 橘川 眞彦

## 副委員長

栃木県総合教育センター研究調査部 部長 江部 信夫  
 栃木県教育委員会事務局学校教育課 主幹 佐藤 仁

## 委員

栃木県教育委員会事務局芳賀教育事務所 所長補佐兼学校支援課長 杉田 知之  
 栃木県教育委員会事務局下都賀教育事務所 副主幹 上野 直哲  
 栃木県教育委員会事務局塩谷教育事務所 指導主事 鈴木 厚子  
 栃木県教育委員会事務局安足教育事務所 副主幹 佐々井信子  
 栃木県総合教育センター生涯学習部 社会教育主事 水沼 誠  
 栃木県総合教育センター研究調査部 副主幹 高山 芳樹  
 " 指導主事 中山 観  
 " 指導主事 小川 浩昭  
 " 指導主事 小川 順子  
 " 指導主事 宮井 由美  
 栃木県総合教育センター教育相談部 指導主事 小山 宏之  
 " 指導主事 庄司 秀樹  
 栃木県総合教育センター幼児教育部 副主幹 永井 弘美  
 " 指導主事 鈴木 智恵  
 栃木県教育委員会事務局学校教育課 課長補佐 高橋 哲也  
 " 副主幹 阿嶋 敬一  
 " 副主幹 田村 一  
 " 副主幹 荒井 光弘  
 " 指導主事 青木 徹  
 " 指導主事 菊地 高夫  
 栃木県教育委員会事務局特別支援教育室 副主幹 久保田幹雄

## 協力者

宇都宮大学教育学部 准教授 熊田 禎介

## 実践協力校

(学法)山王幼稚園  
 真岡市立長田小学校  
 さくら市立氏家小学校  
 栃木市立栃木東中学校  
 足利市立富田中学校  
 栃木県立鹿沼高等学校

- 栃木県総合教育センターの Web ページから、各教材の PDF 版をダウンロードすることができます。
- 地域や学校の実態及び児童生徒の発達段階に合わせてシートを工夫できるように、Word 版も発信しています。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kihan>

---

---

子どもたちの規範意識を育てるための  
ルール・マナー教材集

【 幼 ・ 小 編 】

平成20年3月発行

編集 栃木県教育委員会事務局学校教育課

発行 栃木県教育委員会

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1 丁目 1 - 20

TEL 028-623-3390 (小中学校教育担当)

FAX 028-623-3399

---

---



## いきいき栃木っ子3あい運動

- 学びあい 喜びあい はげましあおう -

## 「栃木の子どもをみんなで育てよう」運動

- うちの子・よその子・栃木の子、みんなで育てて明るい未来 -

